

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 20 日 更新

事務事業名		長期休暇児童預かり事業				☒ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2 福祉の健康				所属部	こども部	課長名	衛藤 和博
	施 策	4 子育て支援の充実				所属課	こども未来課	担当者名	高鷹 博和
	施策の柱	16 子育てと仕事の両立支援				所属班	保育班	(内線)	1621
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10569	根拠法令	合志市長期休暇児童預かり事業実施要綱	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	夏期休業等の長期休暇期間において、市内放課後児童クラブに加入していない市内小学生の預かりを合志楓の森小学校放課後児童クラブ室を活用して行う。小学校区等で実施している放課後児童クラブは、受入れが満杯の状態であり、夏休み期間だけの受入れは、不可能である。 平成22年度から、夏季休業期間のみではなく、冬季休業期間及び春季休業期間も同様に実施している。平成25年4月より、要綱を改正して「長期休暇児童預かり事業」の名称となった。
【業務の流れ】	長期預かり保育事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤支出負担行為 ⑤実績報告書 ・請求書受付、業務委託検査 ⑥支出命令書 その他：IPにて案内・募集
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	保護者（利害関係者）から放課後児童クラブの預かり定員や実施場所を増やしてほしいとの要望がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 楓の森小ぞうさんクラブを運営している社会福祉法人と委託契約を締結し、事業を実施した。 (実績：利用児童32人)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 長期休暇期間に、市内放課後児童クラブに加入していない小学生の預かりを行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 夏休み等学童保育を開設した日数	日	備品購入費の減に伴う委託料の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
放課後児童クラブに行っていない小学校に就学している児童	人	→ ア 学童クラブに行っていない低学年の児童数
	人	→ イ 学童クラブに行っていない小学生
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・仕事と子育ての両立支援を図る。 ・長期休暇期間における児童の安全、健全育成を図る。	人	→ ア 夏休み等学童保育を利用した児童数
	人	→ イ 夏休み等学童保育を利用した延児童数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
学童保育での長期休暇期間中の預かりであるため、長期休暇期間中の預かりを希望する児童に対して受け入れた割合として設定した。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア	日	40	40	40	43	40	40	40	40	
	イ										
② 対象指標	ア	人	1,383	1,633	1,550	1,619	1,600	1,600	1,600	1,600	
	イ	人	3,690	4,003	3,800	4,038	3,800	3,800	3,800	3,800	
③ 成果指標	ア	人	35	25	40	32	40	40	40	40	
	イ	人	243	317	550	640	550	550	550	550	
投資 入費 量	事業 内訳	財源	国庫支出金	千円		221	285	266			
			都道府県支出金	千円	158	234	221	272	266	158	158
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円	1,644	675	1,034	837	796	1,000	1,000
	(A) 事業費計	(A)のうち指定経費	千円	1,802	909	1,476	1,394	1,328	1,158	1,158	1,158
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	0	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	20	0	90	10	90	90	90	90
		(B)人件費計	千円	78	0	358	36	358	358	358	358
	トータルコスト(A)+(B)			千円	1,880	909	1,834	1,430	1,686	1,516	1,516

事務事業名	長期休暇児童預かり事業	所属部	こども部	所属課	こども未来課
-------	-------------	-----	------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 事業の実施において、保育面積を調整し、入所を希望した児童を全て受け入れた。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度以降も入所希望者のほぼ全員を受け入れられるよう施設等の確保を行い、目標達成を図っていく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 令和5年度は春、夏、秋、冬と全ての長期休暇期間に預かり事業を実施し、希望する児童を全員受け入れた。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各小学校区で実施の放課後児童クラブや保育施設での小学生受入れが可能となれば、連携や統廃合することも可能と思われるが、児童数は増加傾向であり、各施設において保育スペースを確保することが厳しく、他に手段が無い。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 令和3年度に委託内容を見直し、次年度の事業費を削減した。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事務で行っているため、削減余地は無い。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 利用児童数は年々増加しており、今後も増加することが見込まれるため、実施クラブ数を見直す余地はある。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域ボランティアの育成等を行うことにより、地域の公民館等での実施ができれば、移行も可能と考えられるが、事故発生等における責任の所在等に問題が残る。

3 評価結果の総括（CHECK）

定員の基準を超えて受け入れている放課後児童クラブが多く、保育スペースに余裕がない。一方で夏休み等の長期休業期間中のみ利用を希望する児童は一定数いるため、希望する児童を受け入れることで、児童の健全育成を図ることができているので本事業は有効である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策